



こめづくり もりづくり ひとつくり

山村塾通信



承継と継承

2018/2/25（日）山林コース「植林」。この日は四季菜館周辺地域の共有林「横峰尾共有林」でのスギ植林でした。十分に生長し伐採適期を迎えたヒノキを収穫（皆伐）し、きれいに地ごしらえをした後に、650本のスギを植えました。実はこの場所、20年前前の大学生のころに参加した「国際合同里山・田園保全ワーキングホリデー in 福岡」にて、国際ボランティアの皆さんや林業青年部の皆さんと間伐手入れを行った場所でもあります。胸高直径20cmほどのヒノキを手ノコで伐採・玉切りして、力持ちの外国人メンバーと運び出したことを覚えています。まさかその時は、20年後に皆伐と植林に関わることになるとは思っていませんでした。

今回嬉しかったのは、共有林所有者の方々や植林作業をご一緒出来たこと。共有林メンバーの安達寛人さんは、今回のメンバーで唯一60年前の植林を経験しており、苗木を背負って集落から山まで登ったこと、植林後は隣の星野村の方々が、イモや陸稲をつくるために畑として管理していたことなどの昔の話を語ってくれました。また子どもたちには、山にはウサギやタヌキ、キツネが住んでいて、そういった生き物たちも楽しく過ごすことができる森になって欲しいとお話いただきました。

「承継」と「継承」という言葉があります。どちらも受け継ぐという意味ですが、少し内容が異なります。承継とは「精神」、「地位」、「事業」を受け継ぐことで形が見えにくいもの。継承とは「身分」、「権利」、「義務」、「財産」といった具体性のあるそのものを受け継ぐことだそうです。昨年九州北部豪雨では多くの森林被害が発生しました。被害を受けた森林はもちろん、その周辺の森林も含めて、これからの森林のあり方を考えなくてはならないのですが、森林所有者の多くは、自分が所有する山の場所や状況を知らないと聞きます。日本全国、戦後に植えられた木が50～60年生になっています。それを植えた人は、若くても70代。森林所有者の多くは世代交代をしていますので、木を植えた当時のことや育ってきた時代をほとんど知らない人が森林を所有していると言ってよいでしょう。

森林は財産ですが、森林管理は事業です。継承ではなく、承継によって森林は守られるわけです。森林の生育は長い年月がかかります。だからこそ、できるだけ多くの方が、できるだけ若いときに、木を植えて育てる作業に触れ、森林を守り育む気持ちを受け継いで欲しいなと心から感じた一日でした。（小森耕太）



世代を超えて、一緒に植林

稲作コースより

2018年最初の行事は左義長（どんと焼き）！今年も棚田の上に立派な竹櫓が立ちました。年男・年女のみなさんが火をつけると、みるみるうちに燃え上がり、パンパンバチーン！と威勢のいい爆竹の音が棚田に響き渡ります。そのうしろで、棚田を縦横無尽に駆け巡るたくさん子どもたち。棚田がとっても賑やかで、あぁいいなあと嬉しく思うひと時になりました。今年は前の日から泊まりがけでたくさんの方に参加いただき、竹の伐り出しや竹櫓の組み立てもとてもはかどりました。

このような昔ながらの行事がなくなってしまうところも少なくない中、いろんなところから集まったみなさんと一緒に行事ができること、とても貴重なことだと感じています。今年度からは「しめ縄づくり」も稲作コースの行事になります。今年も棚田や山で汗を流し楽しみながら、里山の風景や文化を守っていかれたらと思っています！どうぞよろしくお祈りします。（原 愛子）



棚田で冒険だ！
子どもたちも
焚き物集めなど
がんばりました！

◆1月6日（土）左義長準備

参加者：会員 20 名、一般 1 名、スタッフ 8 名、計 29 名

場所：稲作コース棚田

◆1月7日（日）左義長

参加者：会員 52 名、一般 21 名、スタッフ 11 名、計 84 名

場所：稲作コース棚田



竹やぐらの前で大集合！



農家の声

通信に寄せて（チェーンソーによるケガ報告）

ヤッテシモター！

白い腱、ぐちゃぐちゃの傷口が軍手の裂け目から見えました。とっさに指を動かし普通に伸縮するのを見て、ほっとしながらも、軍手を外しポケットのタオルでぐるぐる巻きにし、軽トラを運転して我が家まで2～3分。そして保険証や免許証等の必要品を持ち、最寄りの整形外科へ。その間10分くらい…。そこの名医のおかげで、無事に縫合手術を終え、2時間後には家に戻り着きました。腱が9割切れ、骨が削られ髄まで達した状態でした。待つこと約1時間、手術30分、その後いろいろで2時間ほどの病院体験でした。

原因は不注意。最近片手で使える小型チェーンソーが普及し、軽くて便利ですが、反面、反動による負傷もあります。まさにそのことを実体験しました。荒廃竹林皆伐の作業中、夕方5時頃、握力も弱くなったときでした。

チェーンソー講座を受講し、指導的立場にあるべきものが！と揶揄され、事の重大さが改めて認識されました。対策としては、両手使用のチェー

ンソーに限りますが、万が一に備えての身構えが大事であること。初歩的なミス以外の何ものでもないと感じました。3～4週間の通院中、患部をギブスで固定し不自由な生活を送り、反省のみでした。現在はリハビリの日々です。よく言われますが、リハビリの方が痛かばいと、本当に実感です。皆様もケガせんごと、日々ご注意ください。

今思うのは、竹林後に植えられた桜やハゼ等の木々が里山の景観を見事に演出してくれる日を大いに期待、願うのみです。

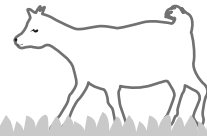


片手で
味噌作り…

先日の出来事…「2度あることは3度ある」薪材をボイラー横で片付け中、チェーンソーの音を聞いた孫にからかわれた

百姓 椿原 寿之より

山林コースより



びっくりするほど寒かったこの冬。笠原では例年よりも雪の降る日が多く、朝起きると一面真っ白！ということが何度もありました。

そんな寒さ厳しい2月でしたが、山林コースは寒さに負けず元気に活動しました！椎茸菌打ちの日は大雪に見舞われましたが、火鉢やロケットストーブの火を楽しみながら、コンコンと全部で7,000個の種コマを打つことができました。

植林では、小雨の降る中、地元の人といっしょに650本のスギの苗を植えました。これから50年先を目指して、みんなで手をかけながら、豊かな森になるよう育てていく予定です。

山の仕事は手作業の部分も多く、手間がかかる大変な仕事です。収穫まで長い時間がかかることもあります。けれど、前の世代の人々が育ててくれた森の恵みを受け取りながら、次の世代のために仕込みをしていく…そんな山の仕事はロマンがあるなあと感じるこの頃です。空気がキーンと冷えた冬の森の静けさ、そのなかで作業を終えたあとの清々しさもまた格別です。というわけで、山林コースの活動もとても楽しいので、2018年もたくさんのご参加お待ちしております！（原 愛子）



大人も子どもと一緒に植林 (2/25)

◆2月4日(日)しいたけ菌打ち

参加者：会員7名、一般9名、スタッフ6名、計22名

場所：えがおの森

◆2月25日(日)植林

参加者：会員12名、一般6名、スタッフ11名、計29名

場所：横峰尾共有林

◆3月11日(日)炭焼き

参加者：会員20名、一般3名、スタッフ6名、計29名

場所：炭窯



立春の日に仕込んだほだ木から椎茸がとれるのは1年半後！(2/4)



炭焼きでも子どもたち大活躍(3/11)

厳しい寒さがようやくゆるみ、梅の花が咲き始め、ふきのとうも見られるようになりました。とはいっても、雷雨があったり不安定な天気はまだ続くのでしょうか？

今年はこの気候のなか、農作物も発育が遅れ、3月に入りようやく椎茸の収穫をしました。と思っていたら、気温が上がり雨が降り、椎茸の発育条件が満たされ、椎茸の収穫に追われるかもと心配しています。まだまだ植菌も半分ほど、原木の運び出しも終わっていないなか、お茶の手入れも始まり、相変わらず忙しいばかりです。

その中で3月、宮永茶屋の竹林整備に1泊2日で参加してきました。気分転換にはなったものの、家を空けるということで後ろめたさもありつつ…。帰れば食事の準備は当然のように待っているし！やりたいことができる日はなかなか来ない

なあ…と思いながら、1日1日をこなす日々です。

でも、明るい未来にかすかな希望を持って、日々過ごしていきます。3月は炭焼き、そのあとは4月の顔見せ会、5月のお茶つみと行事も盛りだくさんです！その合間で自分の時間を持つようになりたいものです。



春を感じる炭小屋の前で

山林コース 宮園 佐津美

山村塾ニュース

◆やってみよう！グリーンウッドワーク

身近な森から切り出したばかりの生の木を使い、人力の道具で小物や家具などを作る木工、「グリーンウッドワーク（GWW）」。12月に岐阜県立森林文化アカデミー准教授の久津輪先生をえがおの森にお招きして、GWWの基礎を学ぶ講座を行いました。

今回は、削り馬という道具とナイフを使って、九州の郷土玩具である「きじ車」づくりに挑戦。色々な種類の木を材料に、ナイフの使い方や手入れの方法、木材の加工の仕方などを学びながら、かわいいきじ車を作りました。今回の学びをもとに、九州でもGWWを広めていけたらと思っています。

この春、福岡の森づくり団体で協力して、GWWを体験してもらう場を企画しています。GWWを通じて、森や木を身近に感じる機会が増えるといいなと思います。ぜひ挑戦してみてくださいね！



削り馬に乗って、きじ車づくり



～グリーンウッドワーク体験会の予定～

- ① 3/4 (日) 油山市民の森 (福岡市) ※終了
森を育てる会と一緒に、油山市民の森の「椿まつり」で、鉛筆や小さな家を作りました。
- ② 4/15 (日) えがおの森 (八女市黒木町)
山村塾の「顔見せ会・山菜とり」と同時開催！
- ③ 5/6 (日) 鴻巣山 (福岡市)
こうのす里山くらすの活動日に開催します。

その他の活動報告

～12月～

- 12/2 (土)～3 (日) チェーンソーワーク研修 伐木編
参加者：21名 (会員1、一般11、スタッフ9)
場所：四季菜館、横峰尾共有林
- 12/9 (土)～10 (日) グリーンウッドワーク講座
参加者：27名 (会員7、一般8、スタッフ12)
場所：えがおの森
- 12/10 (日) 里山ミニワーク「もちつき・しめ縄づくり」
参加者：21名 (会員11、一般4、スタッフ6)
場所：四季菜館

◆宮永茶屋の竹林整備を行いました

黒田藩の家老がお茶の休憩に利用していたという古民家「宮永茶屋 (毛利さん先祖代々の家)」にて、1泊2日の竹林整備ワークを行いました。九州 NICE の若者3名と、宮園家から佐津美さんの応援もあり、雑木林やヒノキ林に侵入したモウソウ竹を切り片づけました。

ここには大きなヤマモモの木があり、毛利さんが子供のころには木登りしてカゴいっぱい収穫していたそうです。今は竹に囲まれて木が弱ってしまい、実をつけることはなくなってしまいましたが、ここ数年で随分と竹を切り片づけたので、少しずつ樹勢が回復してきており、近々収穫できるかも？楽しみです。



今後もいろいろ
計画中です！

ヤマモモの前で
集合写真

～宮永茶屋 (宮若市) 今後の予定～

4/29 (金) たけのこほり、バーベキュー
(会費 1,500 円、小学生以下 500 円)

【申込先】こもれびの家 (毛利宗孝)

電話 0942-53-5511 メール mhourie@komorebinoie.jp

◆1年間、いっしょに走ります！

2018年1月より「Panasonic NPO サポートファン」から助成をいただき、山村塾の組織基盤強化に取り組んでいます。この取り組みを、特例認定 NPO 法人アカツキさんに伴走してもらいながら一緒に進めていくことになりました。これから行事などでも会員のみなさんとも一緒にする機会があるかと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひします！



アカツキの
雪松さんと永田さん

～2月～

- 2/10(土)～11(日) 里山ミニワーク「農産物加工(納豆・味噌)」
参加者：30名 (会員8、一般17、スタッフ5)
場所：四季菜館
- 2/18 (日) 里山ミニワーク「植林準備」@横峰尾共有林
参加者：10名 (会員5、一般0、スタッフ5)

～3月～

- 3/3 (土)～4 (日) 宮永茶屋の竹林整備@宮若市
参加者：9名 (会員3、一般3、スタッフ3)
- 3/4 (日) グリーンウッドワーク体験会@油山市民の森
参加者：41名 (一般37、スタッフ4)

こんにちはは理事です！

樋口 淳一

私が山村塾と出会ったのは、1999年10月に「国際里山・田園保全ワーキングホリデー in 福岡」が開催される、という朝日新聞の記事でした。ちょうどその年度から職場で「ボランティア休暇制度」が始まったものの、利用者がいないので使ってくれないかと上司から依頼されていた頃でした。しかも記事によると開催場所が八女郡黒木町(当時)とあり、自分の出身地ではないかと驚いたものでした。あの山間部の田舎町で外国からボランティアがやってくるなど、想像もできませんでした。私の個人的な事情もありました。父の所有する山が笠原にあり、父もいい歳になってきていたので、山仕事を少しは理解しておかねばと思い始めていた頃だったのです。上司に話をすると快諾してくれて、1週間の休暇を取り参加することになりました。



山村塾の歴史を語るうえで欠かせない、ワーキングホリデー

開催当日は大勢の参加者が受付に並んでいて大変驚いたものです。そしてさらに驚いたのは、主催者のメンバーに中学時代の同窓生がいたことです。その同窓生は現理事長の宮園福夫君です。イギリスの環境保全団体「BTCV」から4名、九州芸術工科大学(当時)から10名近く参加されていたと思います。ボランティアが全部で20名程、ほかに来賓

山村塾歴19年！理事の樋口さんより
山村塾との出会いについて綴っていただきました。

や作業の指導者の方、厨房のお手伝いの方を含めて総勢40名で開催パーティーが盛大に行われました。



参加者の大半の方は四季菜館の2階で、各々シュラフで雑魚寝していました。参加者は年齢がおおよそ20歳から60歳までと幅があり、出身地もバラバラでした。かなりユニークな方が多かったです。私は毎日、作業が終わると夕食までの時間を利用して四季菜館から霊岩寺までランニングで往復し、休みの日は日向神ダムまで往復30kmを走っていたので、そのユニークな一人だったと思います。(この時の練習のおかげで翌年のマラソン大会で目標だった3時間を切ることができました。)

朝のボイラー始動や食事の準備など日常の仕事を班ごとに分担しました。作業は棚田の石垣修復、土留め工、階段作り、放置林の間伐などでした。BTCVの方の英語での指導もあり、今では経験できないようなこともありました。朝廣先生の丁寧な指導、椿原さんと宮園君の印象深い語り、そしてなんといってもまり子さんの美味しい食事。子供時代からよく食べていた料理が多かったのでとても懐かしくまた格段に美味しく、毎日毎日をととても満足して過ごしました。

あれから20年近くの歳月が流れましたが、あのときのすべてが今でもホットな記憶として私の中に息づいています。思えば自分の人生が変わった1週間でもありました。

笠原棚田牧場だより

☆「笠原やぎクラブ」を結成しました！

笠原棚田牧場が完成して1年。ヤギたちのおかげで、わにばち鱈八の棚田はずいぶんきれいに賑やかになりました。

次なる目標は、笠原のあちこちにヤギが草刈りする風景を広げること。ということで、笠原で一緒にヤギを飼い、ヤギと草刈りをする仲間の集い「笠原やぎクラブ」を結成しました！ヤギの活躍の場が増えるよう、応援よろしくをお願いします！



この冬、やぎクラブ会員1号の吉田さん(笠原・下松尾地区)のもとに、山村塾のヤギたち3頭が助っ人へ。災害後耕作できなくなった棚田で草刈りに励みます！

事務局より



特例認定 NPO 法人山村塾 会員募集!

●会員の種類は、総会での議決権を持つ正会員と議決権を持たない賛助会員の2種類です(どちらも個人5,000円、団体10,000円)。

●いっしょに田んぼや山で働く、活動コース(稲作・山林、稲作、山林、古里)の加入をお待ちしております!

ご寄付のお願い

山村塾の活動は、皆様からのご寄付で支えられています。ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

<ヤマヤマ基金>農山村の環境を守る活動全般に役立てられます。

<平成29年豪雨支援>山村塾では寄付を活用し、朝倉市黒川地区の復興を支援します。

■郵便振込口座から

加入者名: 特定非営利活動法人山村塾

口座番号: 01790-3-169398

※通信欄にどちらのへのご寄付かご記入下さい。

■銀行から

銀行名: ゆうちょ銀行 店名: 一七九(店番: 179)

口座: 当座 0169398

※銀行からお振込みされた方は、お名前とご住所またはメールアドレス、寄付先をお知らせ下さい。

■農産物を買う: 会員の方が、椿原家と宮園家の農産物・林産物を購入されると、その一割がヤマヤマ基金へ入ります。

◎年会費納入 以下の方々から年会費を納入いただきました。ありがとうございます。(2/28入金まで。敬称略)

■正会員: 田仲真理子(山林)、樋口淳一(山林)、敷島篤子(稲作)、八幡憲一郎(稲作)、内田和実(山林)、福西勝(山林)、武藤久登、高木雄三(稲作)、八田智弘(稲作)、西田雅文(稲作)、中原久子(古里)、水落啓介

■賛助会員: 柏田智、迫盛寛(古里)、柴戸慶子、豊国寛隆、園村弘、吉田雄一、佐藤剛史(山林)、迫立隆男、木戸武彦(山林)、小川義光、西濱由香、今西勇気、福西玲美(稲作)、江口勝也、檜室美恵子、宮野和子、奈岡秀樹(稲作山林)、松尾綾(古里)、久保健(古里)、赤羽敬治、下田誠也(古里)

◎寄付者 以下の方々から頂きました。この場を借りてお礼申し上げます。(2/28入金まで。敬称略)

■一般寄付: 特定非営利活動法人森づくりフォーラム、

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

■ヤマヤマ基金: 山下直子、特定非営利活動法人こもれびの家、

毛利宗一、大内田治男、安達保、松本和広、川原孝行、

柘山稔博、石崎辰之助、石崎九十九、小川誠二郎、大橋幸太郎、

井上正志、田仲真理子、迫盛寛、柴戸慶子、桧谷利雄、

小手川絢子、井上俊次、轟久ちづ子、木戸武彦、樋口淳一、

小川喜光、小川喜実子、古賀信夫、井上真由美、西濱由香、

八幡憲一郎、吉元俊憲、台北駐福岡経済文化辦事處、金子緑、

武藤久登、宮野和子、西田雅文、中原久子、酒井ちひろ、

伊藤好甲、野瀬留美、山崎清馨、奈岡秀樹、古賀義幸、

河野千枝子、中島幸代、米満秀彦、秋永優子、久保健、角井寿美、

安達勝孝、安達寛人、小川統正、椿原明、西村茂、島本房雄

■笠原復興基金: かつてに林業を応援する会

■平成29年豪雨支援: 山下直子、毛利宗孝、田仲真理子、

柴戸慶子、井上俊次、轟久ちづ子、内田和実、武藤久登、

宮野和子、西田雅文、古賀義幸、河野千枝子、秋永優子

■笠原棚田牧場寄付金: 田仲真理子

今後の予定

日程	行事名
4/15(日)	全体行事「顔見せ会・山菜とり」
5/3(木祝)～4(金祝)	里山ミニワーク「お茶つみ」
5/13(日)	稲作コース「稲の種まき」
5/19(土)	第5回通常総会
5/26(土)～27(日)	里山ミニワーク「棚田の草刈り」
6/16(土)	前日ワーク「田植え準備」
6/17(日)	稲作コース「田植え」

【イベント参加についての注意!】

※2018年度より、

すべての行事の集合時間は**9:30**

になります。

※すべてのイベントは**事前申込みが必要**です!

原則として**開催3日前**までに、必ずお申込みください。食事等の準備のため、ご協力をお願いします。

【参加費について】

行事は活動コース会員は無料、一般は4歳以上1,000円。

ミニワークおよびその他イベントはホームページ、Facebook、チラシ等で詳細をお知らせしています。

詳しくは事務局までお問い合わせください。

【お申込み】

どのイベントも、どなたでも参加いただけます(一部年齢制限あり)。事務局までメール、電話、FAXでお申込みください。

【基本の持ち物】

作業着(長袖、長ズボン※ハチ対策として黒っぽい服はさける)、作業靴、軍手、着替え、タオル、帽子。

※雨天決行です。雨天の場合は合羽、長靴。

※宿泊を伴うものは、着替え、洗面道具をお持ちください。

(シャンプー、リンス、せっけん等は備え付けがあります)

山村塾フェイスブックページ

<https://www.facebook.com/sansonjuku>

山村塾のフェイスブックページです。「いいね!」を押してご参加ください。近況報告や行事の紹介、スタッフのつぶやきなどを発信しています。



山村塾 特例認定 NPO 法人 山村塾

〒834-1222

福岡県八女市黒木町笠原 9836-1 えがおの森内

TEL・FAX 0943-42-4300

事務局携帯 080-8562-4558

Email: info@sansonjuku.com HP <http://sansonjuku.com>

FB <https://www.facebook.com/sansonjuku>

理事長: 宮園 福夫 事務局長: 小森 耕太